

# NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第160号

# 通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2017年3月24日発行 46,370部

## 発行『元気なお口の育て方』

# じょうぶな歯育て、 元気な口育て

歯科衛生士さんが  
書いたコラムが  
本になりました！



歯科衛生士の中村和子さんは、東部子育てセンターの開設当時から、『歯とお口の健口相談』を月に1回お願いしています。そして、『はねっとの気持ち』というコラムをあっとわん通信に掲載して下さっていました。今から5年前のことです。

中村さんのお話はずっと一貫して『口の中の発達』という観点から、歯のことを話してください。

冊子の目次を拝見すると、

- 虫歯菌はこわくない
- 唾液の力
- 離乳食の食べさせ方
- だし昆布、するめ、干し芋
- 「甘い味」は安心な味
- 野菜好きになる、かも…
- コップとストロー
- 歯の使い方
- 歯に穴があいてしまうのは
- 「フッ素」について

などなど、25個のコラムが詰まっています。どれも、興味をそそられるテーマばかりです。

口の中の、歯・舌・口の中の筋肉…そして、これらは食べるというものを咀嚼することや、ごっくんすること、しゃべること、などがあるこ

とで、さまざまに発達をしていきます。

中村さんが「歯のことは気になっても口全体のことは気にならない人が多い」ということは、子育て支援や発達支援をしているわたしにとって、とても興味をそそる言葉なのです。

子どもたちの発達を支援していく中で、カテゴリはひとつだけではありません。

口の中の発達も、そのうちのひとつなんだということ、中村さんとの会話の中で痛感します。

歯磨きは大切だけれども、「歯」とか「虫歯」だけにフォーカスして考えるだけではなく、もう少し視野を広げ、子ども全体の発達のことと含めて考える機会になれば、いいかなと思っています。

今回、この冊子をまとめて購入下さると、中村さんが冊数に応じて、直接お話をしに来てくださいます。冊子と合わせてお話を聞くと、とても良く理解できると思います。

### 冊子情報

『元気なお口の育て方～じょうぶな歯育て元気な口育て～』

はねっと代表  
中村和子(歯科衛生士)

2017年2月発行  
A5判 57ページ 定価1000円  
10冊以上購入すると1時間、30冊以上購入すると2時間、中村さんがお話をしてください。

冊子の注文はEメールでお願いします。

kazukko@spice.ocn.ne.jp



あっとわん春秋

今回特集させていただいた、お口の発達のごとは、今を生きる子どもたちの体全体の発達に関することにも、つながっています。子育てに関する情報が多く入る現状では、犯罪のことも怪我のことも、いろいろな不安を覚えて、子どもたちが外でたくさん体を動かして遊ぶことが、昔に比べて少なくなっています。さらに、多くの大人が考える重要視しているのではないかと、子どもたちの心の発達のこと。心に寄り添っていくことはとても大事だと思いますが、まずは、子どもの体の発達の部分の重要性を再考したうえで考えてみることも必要だと感じています。▼心も体も発達していくことが望ましいと考えているので、全体的な発達という前提を持ちそのうえで、個別の発達を考えていくことは大切なことだと思っています。「●●やっただから、○○の発達がでる」という単体で考えることよりも、まずは、全体の発達から考えることが望ましいのです。そう考えると、お口の中も、全体の発達から考えていくとより理解が進んでいくと思います。いろんな発達ヒントは、日常の生活の中にたくさんあるのです。

かわのゆみこ